



GIFTS & TASKS

"DONS et DEVOIRS"

Helping each other live the Gospel at home & around the world

*International Organization of Marianist Lay Communities (IO-MLC)
Region of North America, Asia, Australia, and Ireland
AUGUST - 2018*

GIFTS & TASKS 8月号

なぜ関心を持つべきなのか

8月に韓国で開催された世界会議で私の任期は終了しましたので、これが私の最後のニュースレターとなります。皆さんに残したいと思う最も大切な考えは、皆さんが出席されず、世界のあるところで起こっている会議について、なぜ皆さんは関心を持つべきなのかということです。

私は「すべての共同体は地元である」という格言をまだ支持しています。なぜなら地元で生活しているからです。しかし、時々、地元という概念を広げなければなりません。2018年の8月、私たちの惑星は地元になりました。25ヶ国から61名の代表が、マリアニスト家族の中での信徒の役割の将来について、共に模索するために会ったのですから。もちろん、これは出席者にとってよいことでした。しかし、**なぜ皆さんは関心を持つべきなのでしょう**か。

1. **なぜなら、マリアニスト家族は皆さんの地元のMLCより大きいからです。**マリアニスト家族は、世界中で信徒マリアニストがその約束を生きるうえでの関心事とやり方について理解しているので、私たちの生活すべてを豊かにしています。
2. **なぜなら、今インドで、スペインで、トーゴで、チリで…起こっていることが、皆さんの親戚 - 皆さんの家族で起こっているからです。**洪水、紛争、災害、人間にとっての素晴らしい進歩をニュースで聞くと、皆さんのマリアニストの「いとこ」の何人かが、それに遭遇しているかもしれない思い出すことができます。
3. **なぜなら、私たちの信仰は普遍的だからです。**たとえ違うことばや文化をもつ人たちとでも。「混乱のない一致」は、夢物語のようなことばというより、私たちが信仰について決断する時に、考える何かになるに違いありません。

4. なぜなら、他の国の MLC に関心を寄せるので、自分たちの地元の MLC を超えて、人々のことをより考えさせるからです。



マルセタ・レイリーは、新しい北米/アジア地区の代表として選出されました。私はマルセタに大きな信頼を寄せていますし、彼女ができる限りのリーダーシップを発揮することによって皆さんを代表し、皆さんに奉仕することを知っています。来月、彼女から直接伺ってください。

スーザン・ヴォート
前 北米/アジア地区代表



MLC 国際会議要約

- ・北米/アジア地域に関するレポート
テキスト & パワーポイント

[Text & PowerPoint](#)



2018-2022 年のチャレンジ/目標

[ENGLISH](#)

[FRANÇAIS](#)

[ESPAÑOL](#)

この資料の最後に日本語訳を掲載しました

第7回 MLC 国際会議の様子の動画は下をクリックしてください

<https://www.youtube.com/watch?v=exkX8NAK2t8&t=4s>





North America & Asia Delegations
 Back: Atsuyuki Yanagawa, Tony Fitzgerald, Jinu SM, Marceta Reilly, Ted Cassidy
 SM, Matt Dunn, Thaddeo, John PARK
 Middle: Sebastian LEE, Sanjay Saraiya, Katie Gushoney, Christina, KIM
 Front: Josee Roberge, Maureen O'Rourke, Jim Vogt, Susan Vogt

北米/アジア地区の各国の代表者達



New International Team:
 Mercedes Bautista de La Cuadra Guerrero (Europe)
 Marceta Reilly (N. America/Asia), Beatrice Leblanc (President)
 Francisca Jere (Africa), Nidia Rodriguez Salazar (Latin America)

新しい国際チーム

世界の状況

性的虐待と隠ぺいについて考えたこと

最近、聖職者の性的虐待とこの痛ましい問題を隠蔽する企てについて、多くのニュースが流れています。辞職を申し出たチリのすべての司教の決定は、チリから来た信徒マリアニストの代表が、韓国の会議でこの問題を提起して難問に立ち向かうよう促しました。300人以上の司祭が性的いたづらをし、1000人を超える被害者がでていたというペンシルベニア大陪審のレポートのニュース速報は、韓国での会議の最中に入ってきました。

韓国での会議の少し前、バチカンの信徒、家庭、いのちの部署は、カトリック教会に公認されているすべての信徒団体（MLC 国際組織はこれに含まれています）に、子供たちと傷つきやすい大人を守るための青少年保護評議会（PCPM）の努力に、どのように従うかについての声明を明らかにするために、メッセージを送りました。国際チームは E メールでこれを討議したところ、新しい国際チームの選挙がわずか 6 週間後に迫っているため、新しいチームにこの指令書について、討議の続行を課すことを決定しました。

マリアニスト家族は、この地域の教会に奉仕する上で、独特な地位を占めています。性的虐待と隠蔽のスキヤンダルは、クラリカリズム（聖職権主義）—司祭の地位と教会の聖職位階制を不当に擁護することに根差しています。これは権力の濫用と、どのようなコストを払っても教会の評判を守りたいという誘惑に繋がります。

弟子の平等性は、マリアニスト・カリスマの重要な次元です。マリアニストの混合構成が特徴です。これらの原則の両方とも、マリアニスト家族が奉仕者として、謙虚な役割を果たす助けとなっています。誰も力、地位、特権を持ちません。私たちはマニフィカトでマリアと一緒にいます。「思い上がる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ」。私たちの共同体の構造は、身分に基づいてできていたのではなく、単に役割が違うということに基づいています。これは教会の奉仕で、私たちが捧げることができる恵みです。

- ・ 被害者に正義をもたらす
- ・ 高潔な司祭を支援する
- ・ 神のある特定の民を他の人より価値があると仄めかす教会の構造を変革する

祈りや悔悛するだけではなく、教会の奉仕で、平等なものとして手に手を取って歩く経験をしていきましょう。



スーザン・ヴォート
退任する北米/アジア地区代表

祈りましょう

- ・性的虐待と隠蔽のスキャンダルに、どのように反応するかを知る知恵を与えてください。
- ・正しいことをする勇気を持てますように。



2018-2022 年のチャレンジ/目標

F 財政 国際チームは、MLC に所属しているという意識を高め続け、提案された活動内容を実行できるように、最低でも年収の 1 時間当たりの金額を寄付するという約束を達成すべきです。(投票 31、代表 21)

I 以下によって、すべてを含み欠けるところのない養成を促進します。

- マリアニスト・カリスマとリーダーシップを含む養成段階による内容です。
- コンテナ：マリアニスト家族に存在する資料を共有するための共通のプラットフォーム

(投票 30、代表 12)

B 貧しい人たちが社会から取り残された人たちと連帯するための奉仕で実行に移し、また社会正義を果たす具体的なプログラムを作ること。物質的な貧しさだけではなく、霊的な貧しさにも対応できる適切なプログラムを作ること。(投票 28、代表 12)

D マリアニスト家族と教会の中で、MLC がリーダーシップを取る役割を広げおよび進めるための高度な訓練を通して、初期の養成用の MLC 養成ガイドを確立すること。

(投票 27、代表 12)

H 青年 マリアニスト家族を通してイエスと共に生きる経験をするために、地域およびまたは国際レベルで青年との会合を促進および促すこと。国際的な青年を対象とする委員会を創設すること。(投票 27、代表 12)

E 国際チームと任命する委員会は以下を行います。

- MLC 養成計画に見られる詳細な記述の中にある、基本的な原則を含む文書を作成します。
- 財政計画のやり方と同じように、すでにあるもの、すでに使用したものや将来に向けて提案される取り組みを共有するために、手に入れやすい養成に関する手段や資料を蓄える機関（養成手段バンク）を創設すること。

(投票 26、代表 10)

C 行動計画を付随して、共通のマリアニスト家族の活動を識別する委員会を設置すること。貧しい人たちが、青年、傷つきやすい人たちに向けて、またその人たちと共にこの計画はその活動を考慮するべきです。(投票 22、代表 10)

F 青年 国際チームと委員会は以下のことを行います。

- 世界中のマリアニスト家族の中で、今青年に何をしているかということについての情報を集めます。
- MLC の他の人たちとマリアニスト家族で興味ある取り組みを分かち合い、その人たちがそれぞれ責任をもつように結びつけます。

若い人たちにキリストとマリアニスト・カリスマを引き合わせ、その取り組みで彼らに同伴し励ます、独創的で具体的な方法を検討します。

(投票 21、代表 10)

J 青年に近づき、惹きつけます。青年にマリアニスト活動全体を開放する行動を奨励します。青年のための国際 MLC 委員会を創設するための可能性、将来にむけての提案、国際チームに MLC 青年部の代表を出す、地域での会議または国際会議や交流を促進します。(投票 18、代表 10)

A 青年も含む養成プログラムを作ること。青年を惹きつける特別なプログラムを作ります。それは私たちの原点を豊かにし、共通のアイデンティティを明確します。

(投票 15、代表 7)